

農001	項目名	次世代農業推進事業費	
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	29
年度	R元		
所属名	農林水産部 農政企画課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化により担い手不足や耕作放棄地の増加等、一次産業の衰退が懸念される中、スマート農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 本市農業の抱える課題解決のため、先進的な農業生産技術やIoTを活用した新技術の導入による農業作業の効率化・軽減化や、担い手不足解消に向けた研究開発に取り組み、魅力ある農業の確立と新たな担い手の確保を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 「とっとり梨園スマート農業実証プロジェクト」(令和元年~令和2年の二か年事業) 梨栽培におけるスマート化技術の実証と経営試算のデジタル化による農業経営の見える化に取り組み、省力化と経営の効率化による「もうかる梨栽培」を確立する。		
補正前額	13,051	総務部長段階査定額	15,000
要求額	15,000	市長段階査定額	15,000
区分	補正額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	6,750	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	8,250	寄付金	0
計	15,000	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農002	項目名	経営体育成支援事業費	
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	29
年度	R元		
所属名	農林水産部 農政企画課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-20-3238		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 適切な「人・農地プラン」が作成された地域において、中心経営主体等の地域の担い手が、融資を活用して農業用機械・施設を導入する際の融資残に補助金を交付し、主体的な経営発展を支援する国の制度が、平成29年度に創設された。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 人・農地プランに位置づけられた中心経営体が地域の農地を集積し、農業用機械・施設を導入する際に融資を受ける者に対して補助金を交付し、中心経営体等の経営の安定化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 1法人 散布用ドローン、播種機、田植機		
補正前額	0	総務部長段階査定額	2,435
要求額	2,435	市長段階査定額	2,435
区分	補正額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	2,435	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	2,435	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農003	項目名	日本伐木チャンピオンシップIN鳥取開催支援事業費	
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	29
年度	R元		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)	補正前額 0		
要求額	1,000		
総務部長段階査定額	1,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,000	
	計	1,000	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 【10次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 森林資源が充実し、間伐や主伐・再造林等の事業量の増大が見込まれる中、若者を中心とする新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっている。しかし、少子高齢化の進展により多くの分野で若手担い手が不足する状況で、林業従事者を目指す者を確保していくためには、林業の魅力周知や、労働環境の改善に取り組んでいく必要がある。 【事業の目的及び効果】 全国規模で行われる林業技術の大会「日本伐木チャンピオンシップin鳥取（仮称）」の開催を支援し、広く市民に林業の魅力を発信していくとともに、大会を通し正しい機械操作技術の伝達を進め労働安全性の向上を図ることで、意欲ある新規林業就業者の確保を進め、もって本市の林業振興を図るもの。 【事業の内容】 「日本伐木チャンピオンシップin鳥取（仮称）」の開催費用への支援を行う。 開催事業費（予定） 13,500千円 内鳥取市補助額 1,000千円			

農004	項目名	林道改良事業費	
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	31
年度	R元		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)	補正前額 28,459		
要求額	55,120		
総務部長段階査定額	33,620	その他財源の内訳	
市長段階査定額	33,620	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	13,750	
	地方債	19,800	
	その他	0	
	一般財源	70	
	計	33,620	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 【10次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の整備改良が要望されている。 【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。 【事業の内容】 林道高路岩坪線（鳥取市高路地内） L=200m(改良) 切土法面整形 A=978m2 側溝工 L=162m L=410m(舗装) 表層工 A=1475m2 上層路盤工 A=1475m2			

農005	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費	
予算書項目	治山事業費	ページ	31
年度	R元		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い、公共施設、人家等を保全するもの。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
補正前額	27,700	①鳥取市細見地内 延長L=12.5m 植生工（植生基材吹付t=3cm）A=77.8m ²	
要求額	22,260	②青谷町大坪地内 延長L=18.0m 測量設計	
総務部長段階査定額	11,760	③鳥取市古郡家地内 延長L=40.0m 測量設計、切土、植生工	
市長段階査定額	11,760	【その他】	
区分	補正額	※その他財源の負担金は、受益者負担金。 ※「緊急自然災害防止対策事業債」を活用するため、財源更正を行う。	
財源内訳	国・県支出金	5,292	
	地方債	17,600	
	その他	1,176	
	一般財源	△ 12,308	
	計	11,760	
行財政改革課処理欄			

農006	項目名	きのこ王国とっとり推進事業費補助金	
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	31
年度	R元		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 本市の椎茸の生産量は年々減少傾向にあるため、椎茸の生産、出荷、販売を促進する必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の特産品である「鳥取茸王」をはじめとする原木しいたけ等の生産体制の整備、販売戦略の実施、原木の安定確保を行う生産者等の取り組みを支援することにより、きのこ王国とっりの実現を推進するもの。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
補正前額	0	原木安定供給支援（作業道開設） 原木林を確保する作業道の開設に要する経費を助成（補助額等） 定額1,000円/m～2,000円/m（幅員2.0m～3.0m） （実施予定地区） 用瀬町安蔵地内 L=550m	
要求額	550		
総務部長段階査定額	550	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	550	分担金 0	
区分	補正額	負担金 0	
財源内訳	国・県支出金	使用料 0	
	地方債	手数料 0	
	その他	財産収入 0	
	一般財源	寄付金 0	
	計	繰入金 0	
		贈収入 0	
		その他 0	
行財政改革課処理欄			

農007	項目名	省エネ漁業推進事業費	
予算書項目	省エネ漁業推進事業費	ページ	31
年度	R元		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	1,542		
要求額	998		
総務部長段階査定額	998	その他財源の内訳	
市長段階査定額	998	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	998	
	計	998	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

魚価低迷、燃油・資材高騰等厳しい経営環境の中で、将来にわたって自立的・安定的な漁業経営を目指し、県の制度と連携し漁業経営の効率化を図る漁業者を育成する。

【事業の目的及び効果】

漁業経営改善計画を作成する漁業者を増加させ、所得を向上させることにより、漁業後継者の確保が期待できる。

【事業の内容】

経営改善に積極的かつ計画的に取り組む漁業者に対し、省エネ等経費の削減に資する機器の購入経費や、温暖化等による海の変化に対応するための漁法転換経費を助成する。

(実施予定者) 賀露4名

(補助額等) 機器等 6,004,000円/6≒997,546円

所属名

農林水産部
林務水産課

農008	項目名	漁業研修事業費	
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	31
年度	R元		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	7,214		
要求額	3,400		
総務部長段階査定額	2,331	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,331	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	2,097	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	234	
	計	2,331	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行しており将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規漁業就業希望者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。

【事業の目的及び効果】

漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者を雇用し、漁労技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。

【事業の内容】

新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。

(雇用予定者) 独立型 1名

(補助額) 2,330,415円 (県 2,097,833円 市232,582円)

所属名

農林水産部
林務水産課

農009	項目名	農道舗装補修等事業費
------	-----	------------

予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	29
-------	------------	-----	----

所 属 名	農林水産部 農村整備課
-------	----------------

年度	R元
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農地費

(単位:千円)

補正前額	32,038
------	--------

要求額	3,564
-----	-------

総務部長段階査定額	3,564	その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0

市長段階査定額	3,564
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	1,782
地方債	0
その他	0
一般財源	1,782
計	3,564

行財政改革課処理欄

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 農道や農業用水路等の農業用施設を整備することにより、効率的な農業運営・管理を実現する。</p> <p>【事業の内容】 平成30年度の豪雨災害による災害復旧で発生した残土の撤去運搬費用。 鳥取市国安地内</p>
--